



小・中学生、高校生の学習の様子

新学期が始まって2ヶ月、6月は一回目の定期テストがあります。定期テストはテスト範囲が分かっているのでテストに向けた日頃の勉強の成果ははっきりとわかります。
もちろん結果は良いにこしたことはありませんが、大事なことはテストに向けて計画的に積極的に取り組んだかどうかです。
なんとなく勉強するのではなく、各教科ごとに目標を立て意識して勉強しなければ結果にはつながりません。
もちろんテスト勉強はしなければなりません。それよりも日頃の塾での勉強や家庭学習を苦手の教科、苦手な単元を自ら積極的に取り組むことが大切です。勉強は繰り返すと積み重ねます、取り組み姿勢や意識の差が結果の差になって表れるのです。まずは自分で考えてみる、やってみることで、出来る人と出来ない人がいるのではなく、やる人とやらない人なんです。

新年度最初の定期テストです！

AIの危険性
AI技術はどんどん進歩しチャットGPTのようなシステムが開発され、今まで人がやっていたことを質問すると瞬時に回答してくれるという異次元の能力を発揮します。
日本でも自治体、教育機関、一般企業でも効率化を図るために、リスクの検証もせずに導入を決めている状態です。
携帯やスマホ、SNSが一気に世界に広まったようにAIも一気に広まっていくはずですが、しかし、アメリカ議会の公聴会でチャットGPTを開発したオープンAI社のCEOが証言し「まずまず強力になるAIのリスクを抑えるため政府の規制や介入が必要ですよ」と自ら開発した技術に警鐘を鳴らしています。
前京大の学長山極嘉一さんも情報を無条件に信じてとなく、真実とは何かを確かめることの必要性と人と人との関係が人間の持っている五感を使って確かめることが大事だと！

18期生で富原中出身の織田君、18期生で富原中出身の川奈部、8期生で美原中出身の小路大、5月も差し入れ、お土産をありがとうございました！
東京から戻り大地みらい信金に就職4月から厚岸支店です。校で教員をしています。
輔君。北海化学防水株式会社から独立して今は自分でやっています。

私事ですが、コロナ禍で3年間遠出をしていなかったのがGWに道南の江差町から南下し函館まで行って来ました。
46年前、仕事で江差町の旅館に1ヶ月滞在し上ノ国の石崎という所の自動改式(交換手がつなぐ)電話からダイヤルでつながる自動交換にする)工事をやりました。
そして仕事が終わって帰ろうとしたその日(77年)に有珠山が噴火したので帰ることが出来ませんでした。
そんな印象深い場所だったので、今はどうなっているのだろうかと思いい、思い切って行くことにしました。
当時にはなかった、幕末の函館戦争で江差で沈没した「開陽丸記念館」に行ってきました。
復元された開陽丸は予想を超える全長73mという大きな船でした。船内には海底から引き揚げた遺物、約3300点の内、約3000点が展示されていて圧倒される迫力がありました。



見ることができました。
今までは歴史の一つの出来事としての漠然とした認識しかありませんでしたが江戸幕府の終わりが京都、江戸だけの話ではなく、260年間続いた江戸時代の終わりが戊辰戦争最後の戦いの函館戦争だったと再認識し幕末をより身近に感じることが出来ました。
この戦争で命を落とした、有名な新選組副長の土方歳三(銅像)や投獄されたのち新政府で活躍した榎本武揚ら旧幕府軍の武士たちの思いと、道南が幕末に大きくかわっていた歴史を改めて知ることが出来ました。
皆さんも機会があれば開陽丸記念館、五稜郭タワーを訪れてみてください。

30	金	◆遠矢定期テスト	1	木	◆景雲・鶴居修学旅行 富原1年遠足
29	木		2	金	◆湖陵・江南期テスト
28	水		3	土	◆湖陵・江南期テスト
27	火		4	日	◆別保定期テスト
26	月		5	月	◆富原1・2年定期テスト
25	日	休	6	火	◆富原修学旅行
24	土		7	水	◆富原1・2年定期テスト
23	金		8	木	◆鶴居定期テスト 別保2年宿研
22	木		9	金	◆景中1年遠足
21	水		10	土	
20	火		11	日	休
19	月		12	月	
18	日	休	13	火	◆附属定期テスト
17	土		14	水	◆景中・青陵定期テスト 遠矢2年宿研
16	金		15	木	
15	木		16	金	
14	水		17	土	
13	火		18	日	休
12	月		19	月	
11	日	休	20	火	
10	土		21	水	
9	金		22	木	
8	木		23	金	
7	水		24	土	
6	火		25	日	休
5	月		26	月	
4	日	休	27	火	
3	土		28	水	
2	金		29	木	
1	木		30	金	

中学で既習として扱われる「小学校700語問題」 誰が教える？

文科省の調査によれば、21年度は3、4年生で68・5%、5、6年生で50・8%の学級で担任が英語を教えている。教員からは、従来の教科でも学習内容が増える中、英語の授業準備に手が回らないという声も聞かれています。
現在の小学校英語は、ざるで水を受けるような状態。英語を専科として教える女性教員は小学校の教科書は、会話や聞き取りに特化していて、中身がないことが問題だと指摘する。「そもそも教科書が系統立ててつくられていないために、700語全ての単語を覚えさせる時間も余裕ありません。文法を順序立てて教えないのに、教科書はそうようにつくられていません」と。これが英語教育の現実です！

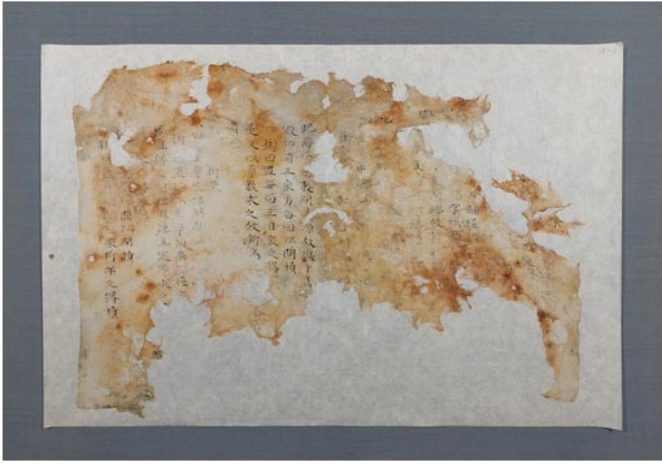
中3生の入塾受付は6月末までです！

通保費・通干渉は子供をダメに！

6月の予定

大きな声であいさつを！

沈没した幕末の軍艦「開陽丸」から謎の古文書 誰が何のために？



佐藤賢一・電気通信大教授が古文書の正体に気づききっかけになった和紙の断片
＝北海道江差町教育委員会提供

北海道・江差沖の日本海に沈没した幕末の江戸幕府軍の旗艦「開陽丸」。そこから引き揚げられた大量の遺物の中に、正体のわからない古文書があった。誰が、何のために積み込んだのか。謎は沈没から約150年後、偶然の出合いを機に解かれることになる。

開陽丸は幕臣の榎本武揚(えのもと・たけあき)らが乗ったことで知られ、1868年、戊辰(ぼしん)戦争の最後の戦いとなる箱館戦争の前に沈没した。1974年に始まった引き揚げ調査で、船体の一部や大砲など約3万3000点の遺物が見つかり、日本の水中考古学の先駆けとなった。

ただ、遺物の中には、塩水で劣化したり貝などが付着したりして、何だったのか、誰の持ち物か分からないものもある。

77年に引き揚げられた古文書もその一つだ。遺物に挟まれて丸まった和紙の塊として見つかり、その多くは波で洗われ、失われていた。

専門業者が1枚ずつはがして復元を試みると、約90枚の断片に分解できた。4種類の古文書であることまではわかったが、詳細は不明のままだった。



カキ殻のように丸まった塊で見つかった古文書＝北海道江差町教育委員会主催の展示図録より

謎を解くきっかけになったのは、2019年のことだ。

佐藤賢一・電気通信大教授(科学史)は、北海道函館市で開かれた学会のついでに、約3000点の遺物を展示している開陽丸記念館(江差町)を観光で訪ねた。

遺物を眺めているうち、「海の中の古文書」と説明書きのある、一枚の和紙の断片が目にとまった。

和紙の中央部分にあった「有三乗方每面若干問積 術曰置每面三自乗」という記述に、心当たりがあったのだ。

「これは和算の数式じゃないか」

和算とは日本独自の数学のことで、佐藤さんはその歴史が専門だ。

他の断片には、幾何学のような三角形の一部も描かれている。古文書の正体は和算書ではないか——。そんな視点で眺めると、惑星の運動の計算方法など、天体観測や暦を扱う「天文暦学」について書かれた紙片もあった。

佐藤さんは、明治の和算家の著作に短く書かれていた、あるうわさ話を思い出した。

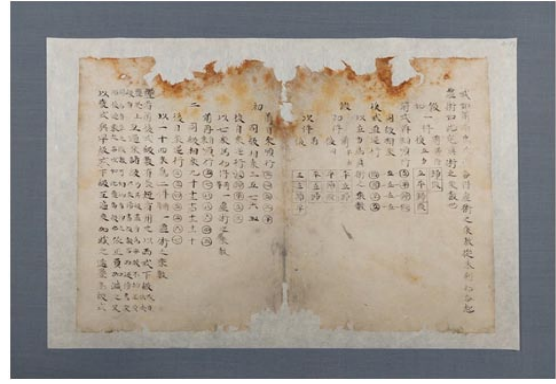
「天文方(てんもんかた)の蔵書載せた軍艦・開陽丸が北海に没す」

天文方とは、和算を活用して天体観測や暦作りを担った、幕府の専門職のことだ。この文書がそれに当たるのでは。そう直感した。

翌月に記念館を再訪し、全ての断片を写真に収めた。和算や天文暦学の専門家を集め、古文書の正体を探る研究が始まった。

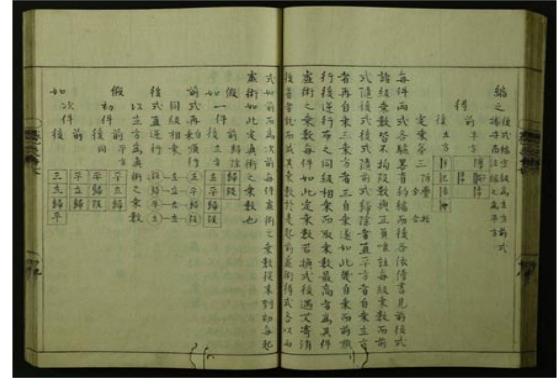
読み取れる文章や、漢字で書かれた数式、図形の一部などを手がかりに、専門家

の記憶や古文書のデータベースと照合を進めた。



開陽丸の古文書。和算家の関孝和らがまとめた数学書「大成算経」の第17巻と判明した＝江差町教育委員会提供

その結果、断片の4分の3は、和算書の「大成算経(たいせいさんけい)」と「極数変形草(きょくすうへんけいそう)」、天文暦学書の「歴算全書」の一部であることがわかった。



開陽丸引き揚げ文書の断片と一致する、大成算経の第17巻のページ
＝九州大付属図書館所蔵

残る約4分の1は、天文方が作成した天体観測の記録や、天文・暦を職業として朝廷に仕えた京都の土御門(つちみかど)家とのやりとりが書かれた書類だった。

いずれも、持ち主が限られる貴重なものばかりだ。

大成算経は、江戸時代の和算家・関孝和らが28年をかけて編集した、和算の「原点」とも呼べる書物だ。

歴算全書は、中国・清朝の代表的な天文学者・数学者の著作をまとめたもので、八代将軍徳川吉宗の時代に渡来した。吉宗が作らせた写本と遺物を比較すると、漢文を読むためにつけられた訓点や改行・改訂箇所まで、ことごとく一致した。

つまり、幕府の貴重な本を写せる立場だった人物が持ち込んだ可能性が高いのだ。

開陽丸は、旧幕臣の榎本軍が新政府軍と戦うために奪った軍艦だ。誰が、いったい何のためにわざわざ和算書や天文暦書を積み込んだのか。

ヒントは、榎本軍の従軍名簿にあった。

天文方を務めた山路家の当主の息子で、天文方見習(みならい)だった山路一郎が、箱館戦争に加わっていたのだ。

山路家では、幕末の混乱時に、役宅(やくたく、役人が住む官舎)の書物を長持(ながもち、大きな長方形の木箱)に詰めて整理したという証言が伝わっていた。長持は見つかっていないが、極数変形草は、山路家の蔵書の目録の中にも記述があった。

佐藤賢一・電気通信大教授＝本人提供

佐藤さんは、その長持が、山路一郎の私物として開陽丸に積み込まれたとみる。

幕末維新史が専門の岩下哲典・東洋大教授によると、榎本軍は、米英仏などの列強を味方につけて北海道で新しい国家の建設を目指していた。和算を活用した測量や暦作りは、新国家には欠かせないという。

岩下さんは「山路は専門職として、重要な資料の知識や技術を継承し、新国家の建設に貢献しようという考えがあったのではないかと。沈没に関する証言や資料の多くが失われた中で、今回の発見の意義は大きい」と話した。

佐藤さんは「天文方の最後の姿が、海中で100年以上を過ごして現代に浮かび上がった。塊状の和紙から内容が判明したことも奇跡的で、歴史のロマンを感じる」と振り返った。【三股智子】

開陽丸

1866年にオランダで製造された江戸幕府の旗艦。鳥羽伏見の戦いに敗れた十五代将軍・徳川慶喜が大坂から江戸に帰るときに乗船したことで知られる。江戸城の無血開城後、幕臣の榎本武揚らが奪って北海道へ逃走。榎本の箱館入港後、68年11月に北海道・江差沖で暴風雪に遭い沈没した。 毎日新聞 2023/5/22

GW 5月3日に開陽丸記念館に行ってきたばかりなのに、引き上げられた古文書の中から和算家の関孝和らがまとめた数学書と天文暦学書の「歴算全書」の一部発見のニュースびっくりです！1300km 走った甲斐がありました。北海道は広いです！